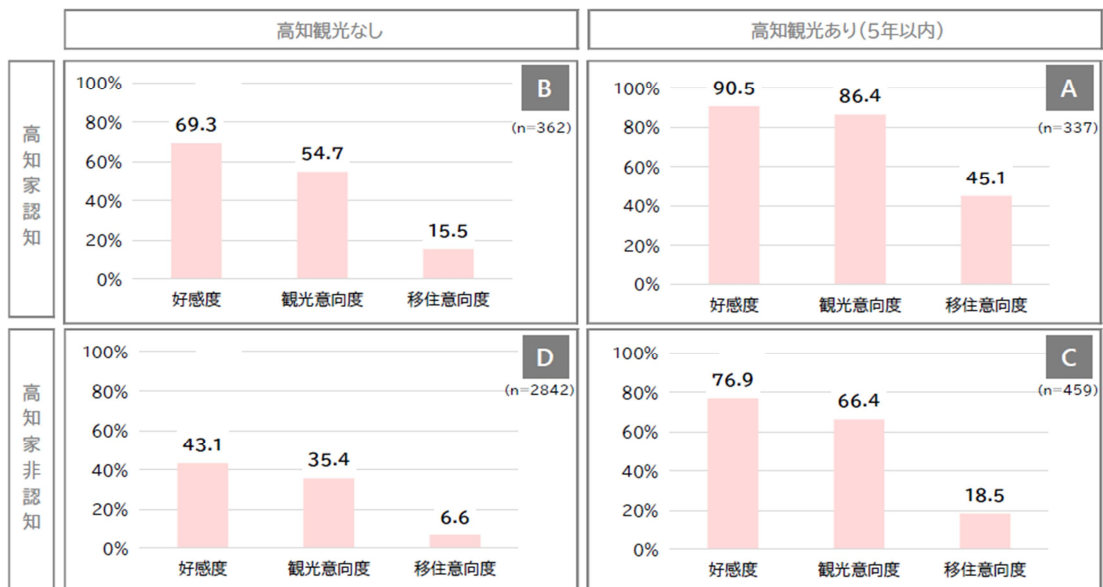


令和7年度調査の概要

【調査結果の概要】

⇒『高知家』を認知していただいたうえで、実際に高知県に来訪し、高知県の魅力を実感していただくことで、高知県への「好感度」や「観光意向度」が高まる傾向がある。今後も魅力的な観光コンテンツなどを具体的に発信することで、本県の認知度向上や観光意欲の喚起を行い、ファン層の拡大を図っていくことが重要。

- ・Aゾーン：【『高知家』を認知しており、かつ5年以内に高知県へ観光経験ある方の層。】の「好感度」は9割、「観光意向度」は8割台。「移住意向度」では4割を超える。4つのセグメントの中で最も高い評価。
- ・Cゾーン：【『高知家』を認知しておらず、かつ5年以内に高知県へ観光経験ある方の層。】の「好感度」は8割台、「観光意向度」は7割台。「移住意向度」は2割台。『とさとき』を認知しているAゾーンの評価には及ばない。
- ・Bゾーン：【『高知家』を認知しており、かつ高知県へ観光経験のない方の層。】の「好感度」は9割台、「観光意向度」は7割台。「移住意向度」は3割台。好感度、観光意向度、移住意向度全てでCゾーンより高い。
- ・Dゾーン：【『高知家』を認知しておらず、かつ高知県へ観光経験のない方の層。】の「好感度」は4割台、「観光意向度」は3割台、「移住意向度」は1割未満で、すべての指標において4ゾーンの中で最も低いスコアとなっている。



※各指標について、好感度:「愛着があり、応援したい」~「やや好感が持てる」/観光意向度:「とても行きたい」+「やや行きたい」/移住意向:「とても住みたい」+「やや住みたい」の合算値

【令和6年度調査との比較】

⇒高知家認知 (A + B) の総数は、ほぼ横ばいであった。一方、全体 (A~D) としては、「好感度」53.4% (R6年度: 42.0%)、「観光意向度」45.0% (R6年度: 34.1%)、「移住意向度」12.0% (R6年度: 9.2%) と、増加傾向となっている。